

伸銅品流通の辰己屋金属

京田辺(京都)で工場増設

パイプ曲げ 内製化率引上げ

伸銅品問屋の辰己屋金属(本社・大阪府東大阪市、社長・奥出兼一氏)は京田辺工場(所在地・京都府京田辺市)を拡張する。このほど取得した隣接地に工場建屋を2棟増設し、パイプ曲げ加工の内製化率を引き上げるほか、精密切削加工能力も引き上げる。京田辺工場をC工場体制として、高まる加工品需要への対応力を強化する。

京田辺工場はCNC自動旋盤を約30機保有し、銅やステンレス、アルミなど精密切削加工を手掛ける切削工場。自動車や家電、ガス関係部品など幅広い需要家へ加工品を供給している。これまでに引き合い増加による設備増強を進めていたが、既存工場が手狭になっただけでなく、工場の拡張を決めた。

このほど取得したのは京田辺工場に隣接する2カ所の土地と建物。更地の土地には自動車や家電部品向けなどの引き合い拡大に対応するため、精密切削加工の「第2工場」を建設する計画。「移動

時期は受注の状況を見ながらの進捗予定になり、「(同社)としておる」(同社)としておる。本格的な稼働は17年初となる見込み。同社は直径2〜51mm、鉛レス・カドミレスといった環境対応材、アルミやステンレスな

5年創業の伸銅品問屋。切削加工拠点である京田辺工場のほか本社工場で伸銅品やアルミ、ステンレスなどの在庫販売やスリット加工を展開。また東京・岩本町に東京営業所を有している。

LME非鉄 軒並み上昇

三井金属、亜鉛建値300円上げ

ロンドン金属取引所(LME)非鉄市況は、現地18日、軒並み上昇。非鉄最大消費国の中国の新築住宅価格の上昇やユーロの先高感などがサポート材料となっ

の現物1472.5ドル(前場、セツルメント価格)、先物1400ドル(後場)。原油安や欧州株安を背景に非鉄市況は軟調な動きが続いているが、中国人民

銀行が預金準備率を引き上げるとの報道もあり、序盤から反発してスタート。三井金属によると、

8%増の33万ト

11月の飲料用

量は前年同月比7.8%増の3万2155トン、販売量も6.9%増の

えて、ボトルにも堅調に推移しているも、

の推移	平均
68	260.4
62	
68	
62	258.1
44	
50	
14	
16	
59	
25	243.8
26	
24	
44	
24	
19	
24	234.8
13	
23	
22	
24	
21	224.1
22	

賞 会長賞 大賞 賞 受

エネ大賞で会長賞
換気システムで受賞

LIXIL(本社、東京都千代田区、社長・穂川欣哉氏)は19日、省エネルギーセンター(会長・藤洋作氏)が主催する「15年度省エネ大賞」で省エネルギーセンター会長賞を受賞したと発表した。対象になったのはハイブリッド換気システム「エ

「元素戦略」の第28日に東京国際フォーラムで開催される。議題などは次の通り。▽経済産業省基調「レアメタルを巡る

の動きと今後の課題 藤井法夫(非鉄金属有金属部)▽文部科学省基調「研究拠点形成型」

の追加緩和期待後退によるユーロ先高感により、亜鉛市況も強含みで推移したという。円元では15000円弱を取引されている。